



写真：センター屋根で休息するツバメ（撮影：令和2年8月12日）

## 「ツバメ」

ツバメ *Hirundo rustica* ツバメ科 ツバメ属

数百羽の群れで訪れる

近年、極端な気温上昇により猛暑日が増えてきました。えびの高原の避暑地としてのポテンシャルが発揮される季節「夏」がやってきます。標高1200メートル、平地と比べると6〜7度ほど気温が低く、アカマツの梢を撫でながらやさしく吹く風がとても気持ち良いです。この時期、高原を訪れるのは人だけでなく、たくさんさんの野鳥たちもやってきます。その代表がツバメ。毎年真夏の夕方、センターの真上を数百羽の群れが旋回します。よく晴れた日、上昇気流で山の上に吹き上がったカヤガガンボなどの昆虫を捕食しているようです。休息のためセンターの屋根に百羽ほどが並んだ様子も壮観です。一羽一羽よく見てみると、くすんだ色のツバメも混じっているのがわかります。今年の巣立ちピナが親と一緒に飛び方やエサの採り方の練習をしにえびの高原を訪れているようです。夏のえびの高原、涼を求めに、そして高原の風に乗る野鳥たちに会いにぜひお越しください。

（文）えびのエコミュージアムセンター